

資格取得しサポート

県電気工事
工業組合 事務職員女性4人

女性活躍や働き方見直しなど職場環境の改革が進む中、埼玉県電気工事工業組合(さいたま市北区・沼尻芳治理事長)では、本部事務職員の女性4人が建設業経理士や電気工事士の資格を取得。組合員の

サポートに一役買っている。入札の際の点数加算などができる建設業経理士1級を持つのは、総務課の岡田良江さんと共同購買部の中島加津恵さん。一般家庭のコンセント設置などを行う第2種電気工

埼玉県電気工事工業組合で専門資格を取得している女子職員の4人。手前から若井春子さん、菊地真弓さん、奥左から岡田良江さん、中島加津恵さん



事士は、中島さんと事業課の菊地真弓さん、総務課の若井春子さんが取得している。中島さんは「電材にもいろいろな用途があり、資格があることで必要な商品がすぐに分かるようになった」。実技

試験ではペンチの使い方から学んだ菊地さんは「電気工事を身近に感じることで、組合員の考えていることが理解できるようになった」という。

同組合は県のウーマノミクス推進事業にも積極的に参加。岡田さんは「男女にかかわらず得意分野を生かすことが必要」、若井さんも「相手を思いやる仕事ができるようにならなければ」と話す。木村陽一総務課長は「女性が生き生きと仕事ができる環境づくりにつながっている」と資格取得の効果を実感する。

同組合は県内の電気設備業者約1200社が加盟、県認定の「職業訓練校」として事業に必要な資格取得のためのコース運営など、組合員の支援を行っている。(高橋功)